

大和野菜※の「たね」から「いのちのめぐり」を考える体験の実施

事業実施主体：奈良県

- 奈良県は内陸県であり、食料自給率が令和2年度カロリーベースで全国平均38%に対して13%、生産額ベースで全国平均67%に対して23%と低く、児童が豊かな食体験を積み重ねていくための環境が十分ではない。
- これらを解決するために、ICTを活用したデジタル教材と農業現場でのリアルな体験をリンクさせた取組により、県内各保育施設の食育の環境改善を図り、食育を推進していく。
- 食育、保育、生産者などの有識者を交えた奈良県主催の食育検討会において、「保育者等が繰り返し見直すことができ、日常的に取り組める構成」としたワークブックを検討し、モデル園において、ワークブックのコンセプトである「いのちのめぐり」、「たね」をテーマとした地元生産者とつながる農業体験プログラムを企画・実施した。

奈良県



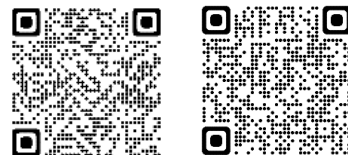
(奈良県全域)

【取組の内容】

- 食育連携機関関係者会議(食育検討会)の実施
保育施設において、全ての子どもに豊かな食の体験の場を提供するために、地域の食育機関や関係者が食育の手引きの方向性や内容、手引きの検証方法など検討。



奈良っ子はぐくみワークブック「ひとたね」



「ひとたね」のQRコード コンセプト動画

- 参加園での具体的なモデルプログラムの検討、実践、評価
モデル園において、作成した食育の手引きのエッセンスを取り入れた農林漁業体験の機会を提供した。地元生産者の畑とモデル園をデジタル技術を活用し、現地に行かなくても映像で体験できる環境を整え、食育の手引き全体のコンセプトである「たね」をテーマに実施。

※ 大和野菜とは、戦前から奈良県での生産が確認されている野菜(大和の伝統野菜)と、栽培や収穫出荷に手間をかけて栄養やおいしさを増した野菜や奈良県オリジナルの野菜(大和のこだわり野菜)をいいます。

(<https://www.pref.nara.jp/6979.htm>)



大和野菜のたねクイズの様子



たねとりの様子

【取組の成果】

- 奈良県版の「食育」を踏まえた保育を推進するため、「奈良っ子はぐくみワークブック『ひとたね』」※を制作し、保育関係者に活用方法を紹介しながら、奈良らしい保育の実践を広げていくきっかけとなった。

※ 就学前の子どもの「はぐくみ」を推進するため「自然保育」・「食育」・「芸術」をテーマとした、日常の保育の実践に役立つワークブックを制作し、奈良県HPIに掲載。

- ① 農林漁業体験を経験した者
目標値 125人
→実績値 133人
- ② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

目標値 77.4%
→実績値 92.3%

